

夏期マレーシア・マラヤ大学英語研修プログラムの開始

2017 年度夏期マレーシア・マラヤ大学英語研修プログラムが開始され、鳥取大学からは9名の学生が他6大学の参加者と一緒にプログラムに参加しました。鳥取大学の学生達は、香港での乗り継ぎで3時間の出発遅れがありましたが、8月10日（木）22時35分にクアラルンプール空港に到着し、出迎えてくださったマラヤ大学スタッフ、バディ学生と一緒に大学の車でマラヤ大学国際交流会館に無事到着しました。

翌8月11日（金）は、学生達は英語レベルに応じた4つのクラスに分けるためのプレメントテストを受け、午後は、マラヤ大学のバディと一緒にマラヤ大学キャンパスツアーに参加しました。

8月12日（土）、13日（日）はプトラジャヤ、天后宮、国家記念碑、バトゥ洞窟、マラッカ市を訪問し、マレーシアのさまざまな宗教や歴史について学びました。

8月14日（月）からは英語クラスが始まり、マラヤ大学のバディと一緒に読解、語彙、文法、会話、作文などの学習を始めました。

学生達のマラヤ大学到着の前に、鳥取大学国際交流センターの安延久美センター長、ロクサナ准教授がマラヤ大学を訪問し、今後のプログラムの発展のあり方についてマラヤ大学スタッフと話し合いました。

